



20
24



学校法人 成田山教育財団

成田高等学校

—— 建学の理念 ——

成田高等学校は、

「成田山の宗教的使命の達成」

～真理を愛し、社会に奉仕する～

「地方文化の向上」

のために創設されました。

—— 教育方針 ——

この理念に基づいて

「行き届いた教育により生徒の全体的な発達を促す」

ことを教育目標として掲げ、以下の3点に特に留意しています。

- ・挨拶や服装をはじめとする、礼節を重んじたコミュニケーション能力の育成
- ・自発的に学習する自学自習の態度の育成
- ・文武に励むことを通じて成長し、社会に貢献できる人材の育成

—— 成田高校が育てたい生徒 ——

「己を知り、自ら思考・行動・発信するとともに、他者を受け入れ理解して、共に高め合える生徒」

—— 努力目標 ——

挨拶する／正装する／勉強する／運動する／掃除する

たくましい 日本人の育成

成田高等学校 校長 鈴木 隆英



国際化が一層深まる世界にあって、みなさんはそう遠くない未来に、多くの国の人々と話し合い、協議して仕事をしていくことになるでしょう。そんな中で、みなさんは「あなたはどう考えるのか?」「あなたはどうか対応するのか?」と問われることになります。そういう意味で、まず第一に、自らの地域の文化と伝統への理解を深め、尊重し、郷土や文化を愛する心を育てていくことが重要であると考えます。それとともに、他の国や地域の文化と伝統に敬意をもち、尊重し、国際社会の一員としての責任を担い、責務を果たすことが求められます。みなさんは、本校での「文武両道」の生活を通じて、まず自分を知ることから始めてください。そして将来、たくましい人間として家族を守り、社会に奉仕し、国際社会に貢献する志を持った人物となってください。

本校は、みなさんがたくましい人間になり、夢と志を実現していくためのお手伝いをしていきます。皆さんの入学を待っています。

沿革

- | | | |
|--|--|--|
| 1887 (明治20年/10月3日)
成田山山主三池照鳳大僧正により、
本校の前身である修業年限3カ年の
成田英漢義塾が創立される。 | 1948 (昭和23年/3月31日)
学制改革に伴い、
中学校、女学校を統合し、
成田山文化事業財団を設置者とし、
成田高等学校の設置認可を受ける。
同時に中学校を併設する。 | 1998 (平成10年/10月8日)
創立100周年
記念式典を挙げる。 |
| 1898 (明治31年/10月7日)
成田山山主石川照勤大僧正は
英漢義塾を閉塾し、
新たに修業年限5カ年の
旧制私立成田中学校の
設置許可を受ける。
この日をもって
本校の創立記念日と定める。 | 1949 (昭和24年/3月31日)
併設中学校を閉校する。 | 2012 (平成24年/3月8日)
新校舎竣工 |
| 1908 (明治41年/2月21日)
修業年限3カ年の
私立成田山女学校が創立される。 | 1951 (昭和26年/1月19日)
私立学校法により、
学校法人成田山教育財団の
設置認可を受ける。 | 2013 (平成25年/7月3日)
新武道館竣工 |
| 1911 (明治44年/2月13日)
成田山女学校を閉校し、
修業年限4カ年の
私立成田高等女学校として
設置認可を受ける。 | 1966 (昭和41年/12月23日)
付属中学校の設置認可を受ける。 | 2013 (平成25年/10月7日)
創立115周年記
念式典を挙げる。 |
| | 1967 (昭和42年/4月8日)
付属中学校を開校する。 | 2018 (平成30年)
創立120周年 |
| | 1973 (昭和48年/3月15日)
付属小学校の設置認可を受ける。 | |
| | 1973 (昭和48年/4月7日)
付属小学校を開校する。 | |



高等学校教育課程

(抜粋・令和6年度入学生予定)

教科	科目	高1 (文理共通)	文系		理系	
			高2	高3	高2	高3
国語	現代の国語	2				
	言語文化	3				
	論理国語		2	2	2	2
	文学国語		2	3		
	国語表現					
	古典探求		2	2	2	2
	☆国語研究			△2		
	☆国語技能審査			※2		※2
地理歴史	地理総合	2				
	地理探求		③		3	
	歴史総合	2				
	日本史探求		③			
	世界史探求		3			
	☆地理研究					④
	☆日本史研究			④		
	☆世界史研究			④		
公民	公共		2		2	
	倫理			△2		
	☆公共研究			3		
	☆公民研究					④
数学	数学Ⅰ	4				
	数学Ⅱ		4		4	
	数学Ⅲ					□4
	数学A	2				
	数学B		2		3	
	数学C					□2
	☆数学研究			□4		△4
理科	物理基礎	2				
	物理				③	③
	化学基礎	2				
	化学				3	3
	生物基礎	2				
	生物				③	③
	☆化学研究		2			
	☆生物研究			□2		
体育 保健	体育	2	2	3	2	3
	保健	1	1		1	
芸術	音楽Ⅰ	②				
	美術Ⅰ	②				
	書道Ⅰ	②				
	☆書道技能審査			※2		※2
外国語	英語コミュニケーションⅠ	5				
	英語コミュニケーションⅡ		4		4	
	英語コミュニケーションⅢ			4		4
	論理・表現Ⅰ		2		2	
	論理・表現Ⅱ			2		2
	☆英語研究			△2		△2
	☆英語技能審査			※2		※2
家庭 情報	家庭基礎	2				
情報Ⅰ		2		2		
特別活動		1	1	1	1	1
総合的な探究の時間		1	1	1	1	1
合計		35	35	31・37	35	31・37

45分授業で実施。週6日制で原則1日6時間授業。1・2年生は水曜日のみ7時間授業。土曜日は4時間授業(3年生は特別講座)。
○は選択科目。いずれかを選択する。□と△はセットでそのどちらかのセットを選択。いずれも原則10名に満たない場合は開講されない場合がある。
※は検定2級所持者に3年次に単位が認定される。☆の科目は学校設定科目。

1・2年次にはほとんどの必修科目を履修します。また、生徒の進路希望に対応するために、2年次からの文理別授業を行い、現役合格を目指します。

※高入生と内進生(付属中からの内進者)は、3年間別クラス。

十分な授業時間と、放課後の特別活動の充実を図るため、週6日制を実施しています。また、集中力や想像力、自己教育力を養うため、授業開始前に読書の時間を設けています。

※高1・2年は、火・木の第7校時に学力補充講座(英数)を実施。

※高3の3学期は、家庭学習制度を実施。

※文部科学省の学習指導要領や大学入試の内容等の改定に対応するため変更する場合があります。

充実したカリキュラムで未来の夢に着実に近づく

それぞれの進路の志望に合わせたクラス編成を実施し、柔軟なカリキュラムにより着実に志望校合格を目指します。



特進α・進学コース

成績上位者による特進αクラスを2クラス編成します。習熟度別のクラスをつくることで、それぞれのクラスに合わせた教科指導や進学指導を行い、生徒たちが自らの目標を設定する為のアドバイスをしっかり行っていきます。

ほぼすべての生徒が大学進学を主とした高等教育機関への進学を希望していることから、その希望をかなえ、かつ研究活動において十分能力を発揮すべく学力の定着とともに、現代の社会で必要とされている様々な能力の向上を目指していきます。積極的に外部の企業や各界で活躍する卒業生の協力を得ながら、教員と生徒がともに学びつつ様々なスキルを身に付けていきます。

生徒達は以下の3つの能力の向上を目標とした取り組みを行っていきます。

① 知識の確実な習得

知識の習得は、人がものを考え仕事をし社会的生活を営んでいく上で依然として重要です。社会で起きていることは複雑であり、克服・解決するには幅広い知識と教養が求められます。高校での教科は全ての基礎にあたるため、その重要性を理解したうえで意欲的に学び十分な定着を目指します。テストだけでなく、総合的な探究の時間で横断的・学際的な学びを通して知識の理解、習得を目指します。

② 知識を操作する能力の向上

この社会を力強く生きるために、知識を操作する能力(活用や探究、問題解決)の向上を目指します。そのためにiPadや校内Wi-Fiの高速ネットワーク環境などを活用した様々なコンテンツを利用した授業を展開します。そこでは実社会とのつながりを意識したコンテンツを提供していきます。

具体的には日常の授業だけでなくWebを活用した学習としてスタディサプリや駿台サテネットなど学校外の有用なコンテンツの受講やGoogle スカラー・CiNiiなどの学術論文検索、そして4万冊を超える蔵書のラーニングセンターなど活用する場を豊富に用意しております。

③ 知識を利用し集団で活動する能力の向上

この能力なしには、仕事を含めた社会的役割を十分果たせるとは言えない時代になりました。何事にも主体的に取り組み、多様性を尊重し、他者と協働するためのチームワーク、コミュニケーション能力を備えた人材の育成を目標としていきます。

自分の蓄積してきた知識を生かしつつ、総合的な探究の時間や卒業研究での実験・社会調査活動や各教科での課題研究発表、修学旅行や見学旅行でのフィールドワーク等を通して自分だけでは解決できない事柄を他者と協働して取り組む重要性を知り、コミュニケーション能力の向上と持っている能力を最大限に発揮できるよう取り組みます。

令和5年度入試大学合格者数

国公立大学 計 41(32)	
北海道大学	1(1)
東北大学	1(0)
大阪大学	1(1)
お茶の水女子大学	1(1)
千葉大学	12(9)
筑波大学	2(2)
東京学芸大学	1(1)
横浜国立大学	2(1)
東京都立大学	1(1)
埼玉大学	3(2)
新潟大学	3(3)

私立大学 計 724(676)	
早慶上理 計 52(44)	その他私立大学
早稲田大学	12(12)
慶應義塾大学	9(6)
上智大学	10(8)
東京理科大学	21(18)
GMARCH 計 112(92)	
学習院大学	9(9)
明治大学	27(20)
青山学院大学	15(13)
立教大学	22(19)
中央大学	16(14)
法政大学	23(17)
成蹊大学	5(5)
成城大学	8(8)
明治学院大学	8(6)
獨協大学	7(6)
國學院大學	18(18)
武蔵大学	6(6)
日本大学	93(89)
東洋大学	54(51)
駒澤大学	16(16)
専修大学	14(12)
芝浦工業大学	11(11)
東邦大学	21(19)

主要指定校

令和5年度入試の募集者数	
早稲田大学	1
東京理科大学	8
明治大学	3
青山学院大学	2
立教大学	4
中央大学	1
法政大学	3
学習院大学	4
成城大学	1
明治学院大学	5
日本大学	6
東洋大学	5
駒澤大学	1
東邦大学	11

※()内は合格者数のうち現役生
その他の合格実績に関しては
本校HPをご覧ください。

他多数
※指定校推薦は
毎年新たに募集人数が変わります。
こちらに記載された大学は
変更の可能性もあります。
また、上記の大学も学部によっては
募集が無いこともあります。

進路選択サポート 一人ひとりに合った進路実現

1 早期から将来への見通しを持たせる

生徒との二者面談および保護者面談を計画的に行い、一人ひとりに合った進路指導を行います。また、卒業後のことを意識するよう、高1から全員が大学のオープンキャンパスに行くように指導します。

2 学習意欲を維持するための仕掛け

外部から講師を招いての進学講演会や進路に関する学年集会を節目に行い、徐々に「進路実現のために努力する集団」を形成します。また、タブレット端末でスケジュールを主体的に立てることをサポートします。

3 先輩との交流を通して将来像を持たせる

1・2年生に対して大学に合格した3年生が大学合格までの道のりを話す「大学合格報告会」など、先輩や卒業生との関わりの中で進路について考える場を提供します。卒業生の体験談をまとめた「進路のしおり」も毎年発行しています。

4 最後まで学校が教員全体でサポート

普段より生徒の学力や進路の希望を考慮して、担任や進路指導部を始め全ての教員が持っている経験や情報を提供しサポートします。生徒の納得のいく進路の実現を目指し、出願に関するアドバイスを入試前まで続けます。

学力向上サポート 国公立・難関私大に通じる学力養成

1 高3への手厚い指導

土曜の授業に替わり、土曜講座(希望制)を開講します。数ある講座の中から自由を選ぶことができます。また、家庭学習に入る3学期にも、国公立個別(二次)試験対策など、最後まで個別に指導していきます。

2 夏季講座・冬季講座

長期休業中は数多くの講座から自分に合った内容、レベルの講座を選んで無料で受講できます。学力に差が出やすい休業を有効に使います。特に夏季講座は学年に関係なく受講できる講座がたくさんあります。

3 映像講座を用いた本格的な学力養成

予備校等の映像講座を利用して、大学入試突破のための学力養成を目指します。多種多様な講座で基本事項の確認から大学入学共通テスト、二次・私大・難関大対策まで受験に必要な応用力・実践力の養成を目指します。

4 外部模試の徹底した有効活用

年間4~5回の外部模試で定点観測を行います。また、それに伴う対策講座、データ分析、事後指導、弱点克服講座など、模試を「受けっぱなし」にさせずに指導します。



入学から卒業まで、あなたに寄り添う進路指導プログラム

あなたが一番輝ける道を見つけるため、
圧倒的な情報量を持つ教員達が共に考える

あなたの夢を現実に近づけるため、
緻密な受験戦略であなたを伸ばす

〈進路選択サポート〉

入 学

〈学力向上サポート〉

1年	1学期	5	生徒個別面談 進学講演会 進路指導(選択科目について)	スタディサポート(ベネッセ)	4	
		6	進学講演会	総合学力テスト(ベネッセ)	6	
		6月 文理等選択科目調査(予備調査)				
	夏休み	8	オープンキャンパス見学 保護者面談	全統模試(河合塾) 夏季講座	8	
	2学期	9	進路調査	スタディサポート(ベネッセ)	9	
		10	進路講演会	総合学力テスト(ベネッセ)	10	
		11月 文理等選択科目調査(最終決定)				
	3学期			総合学力テスト(ベネッセ)	1	
	2年	1学期	4月 文理型別授業開始			
			5	生徒個別面談	スタディサポート(ベネッセ)	4
6			進学講演会	総合学力テスト(ベネッセ)	6	
6月 3年次理社等選択科目調査(予備調査)						
夏休み		8	オープンキャンパス見学 保護者面談	夏季講座	8	
2学期		9	進学講演会	全統模試(河合塾) 総合学力テスト(ベネッセ)	8 10	
		11月 3年次理社選択科目調査(最終決定)				
		3学期	2	進学講演会 進路指導(就職・専門学校:希望者)	共通テスト対策模試(河合塾)	2
3年		1学期	5	三者面談(志望校を絞り込む)	全統マーク模試(河合塾) 特別講座開始(平日放課後、土曜①~④) 全統記述模試(河合塾)	4 5 6
			夏休み		夏季講座	8
	9		大学入学共通テスト説明会	マーク模試(駿台ベネッセ) 記述模試(駿台ベネッセ)	10	
	2学期	大学入学共通テスト出願				
		11月 志望校決定(願書取り寄せ等)				
		12	一般入試受験者指導(本人・保護者)			
	3学期	1	共通テスト自己採点・受験者個別指導			
		1月~ 志望校への出願 大学入試等・進路決定				
	卒 業					

※この他にも希望者対象模試を実施

※年度によって変更あり

四季を鮮やかに彩るさまざまな学校行事は 心に残る思い出に

友とともに、思い切り笑ったり泣いたり。行事で深まる団結や友情も、高校時代の輝かしい思い出になります。

〈主な学校行事〉



全校野球応援



海外語学研修



海外語学研修



葉牡丹祭(文化祭)

4 Apr

- ・始業式
- ・入学式
- ・授業参観
- ・スタディセミナー

5 May

- ・中間考査
- ・三者面談(3年)
- ・生徒個別面談(1・2年)

7 Jul

- ・期末考査
- ・全校野球応援
- ・海外語学研修(1・2年希望者、カナダ13日間)
- ・終業式
- ・夏季講座(全学年希望者)

8 Aug

- ・スタディセミナー
- ・夏季講座(希望者)

9 Sep

- ・始業式
- ・葉牡丹祭(文化祭)
- ・体育祭

10 Oct

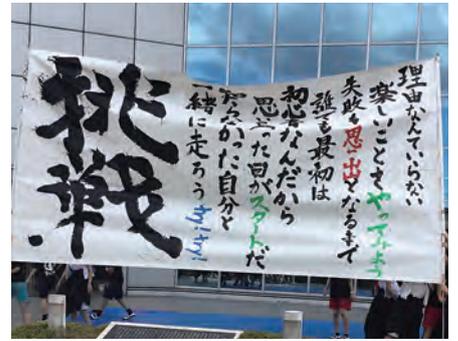
- ・創立記念日
- ・芸術鑑賞会
- ・中間考査



葉牡丹祭(文化祭)



葉牡丹祭(文化祭)



葉牡丹祭(文化祭)



葉牡丹祭(文化祭)



体育祭



修学旅行



体育祭



修学旅行



卒業研究発表会



卒業証書授与式

11 Nov

- ・修学旅行(2年)
- ・学年行事(1年)

12 Dec

- ・期末考査
- ・終業式
- ・スタディセミナー

1 Jan

- ・始業式

2 Feb

- ・卒業研究発表会
(3年、進路決定者)

3 Mar

- ・3年生を送る会
- ・卒業証書授与式
- ・学年末考査(1・2年)
- ・海外語学研修
(1・2年希望者、アメリカ12日間)
- ・修了式

整った施設環境で、思う存分打ち込む部活動

文武両道を目指す本校は、部活動も盛んです。

学術部7、文化部が10、運動部が15の計32の部活動と3つの同好会が活動し、各分野で輝かしい成績を残しています。



野球部



陸上競技部



水泳部



ソフトテニス部



柔道部



剣道部

その他の部活動 (令和5年4月現在)

運動 山岳部、硬式テニス部

学術 美術部、英語部、社会科学部、書道部、自然科学部、家庭科部

**文化
同好会**

文芸部、新聞部、演劇部、写真部、華道部、インターアクト部、軽音楽部
将棋同好会、クイズ研究同好会、コンピュータ同好会



ダンスドリル部



バスケットボール部



バレーボール部



卓球部



弓道部



空手部



サッカー部



競技かるた部



茶道部



放送部



音楽部

令和4年度 主な実績

運動部

〈野球部〉

- 令和4年度第75回秋季千葉県高等学校野球大会予選 準優勝
- 第75回秋季関東地区高等学校野球大会出場

〈男子バレーボール部〉

- 関東大会千葉県予選 ベスト32
- 千葉県高校総体(規模縮小で開催) 1回戦
- 千葉県新人大会 ベスト32

〈水泳部〉

- 関東大会 個人16種目、リレー6種目出場
- インターハイ 個人6種目、リレー3種目出場
- 国民体育大会 3名選出
- 少年B男子4×100mリレー 6位入賞

〈サッカー部〉

- 令和4年度千葉県高等学校総合体育大会 3回戦出場(ベスト32)
- 令和4年度高校サッカー選手権大会 千葉県大会 決勝トーナメント第2回戦進出(ベスト24)

〈山岳部〉

- 令和4年度千葉県高等学校総合体育大会 登山大会 団体の部5位入賞(関東大会出場権獲得)
- 第21回千葉県高等学校ボルダリング大会 男子の個人5位入賞(5人/54人)

〈ソフトテニス(女子)〉

- 令和4年度関東高等学校ソフトテニス大会千葉県予選会 団体第5位/個人第3位・第9位(関東大会出場)
- 令和4年度千葉県高等学校総合体育大会

- ソフトテニス大会 団体第3位、個人第5位(インターハイ出場)
- 令和4年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス大会 個人戦出場(3回戦)
- 令和4年度千葉県高等学校新人体育大会ソフトテニス大会 団体第3位/個人第5位
- 令和4年度千葉県高等学校選抜ソフトテニス大会 団体第2位(関東選抜大会出場)
- 第48回関東高等学校選抜ソフトテニス大会 団体第3位(全国選抜大会出場)

〈ダンスドリル部〉

- 令和4年度全国高等学校ダンスドリル選手権大会 KICK部門 第5位
- 令和4年度全国高等学校ダンスドリル選手権大会 SONG/POM部門 Medium編成 第15位
- 令和4年度全国高等学校ダンスドリル冬季大会 SONG/POM部門 Small編成 第6位
- USA Regionals東京大会出場、USA Nationals2023 出場決定

〈陸上競技部〉

- 第75回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 男子200m 2位、男子円盤投 6位、女子5000m競歩 4位
- UI8日本陸上競技選手権大会 男子棒高跳 優勝/5位、男子100m 2位、女子三段跳 3位/5位、女子砲丸投げ 6位
- 国民体育大会 少年男子100m 4位、少年成年共通男子4×100mリレー 3位
- 関東高等学校陸上競技大会 南関東地区予選 男子総合優勝、トラック優勝、フィールド優勝、男子11種目入賞、女子9種目入賞
- 千葉県高校総合体育大会陸上競技大会 男子総合優勝/女子総合2位、男子円盤投 千葉県高校新記録樹立

- 全国高校女子駅伝競走大会 13位
- 関東高校女子駅伝大会 2位
- 千葉県高校駅伝大会 男子4位/女子優勝

〈剣道部〉

- 関東高等学校剣道大会千葉県予選会 女子団体第6位、女子個人ベスト8
- 関東高等学校剣道大会 女子団体戦出場
- 千葉県高等学校総合体育大会剣道大会 女子団体ベスト16、女子個人ベスト16
- 玉竜旗高校剣道大会 女子の部 敢闘賞(5人抜き達成)
- 千葉県高等学校新人剣道大会 女子団体ベスト16
- 若潮杯争奪武道大会(剣道の部) 男子団体出場

〈柔道部〉

- 令和4年度 関東高等学校柔道大会 千葉県予選会 男子団体第5位
- 第70回関東高等学校柔道大会 男子団体出場
- 第75回千葉県総体柔道大会 個人戦 男子個人81kg級 ベスト8、90kg級 ベスト8、女子個人57kg級 ベスト8
- 第75回千葉県総体柔道大会 男子団体戦 ベスト8(優秀校)
- 令和4年 千葉県柔道体重別選手権大会 男子個人60kg級 第3位、73kg級 ベスト8、90kg級 ベスト8/女子個人63kg級 第3位
- 令和4年度金鷲旗高校柔道大会 男子団体 ベスト64
- 令和4年度第63回千葉県高等学校新人柔道大会 男子団体 第6位、男子個人60kg級 ベスト8、66kg級 ベスト8(2名)、90kg級 第3位
- 令和4年度千葉県高等学校選抜柔道大会 男子団体 ベスト8

文化部

〈文芸部〉

- 第23回関東地区高校生文芸大会 部誌「アルカディア」出場
- 第9回千葉県高校生文芸部誌大会 詩部門 優秀賞

〈自然科学部〉

- 令和4年度第16回高校生理科研究発表会 奨励賞

〈競技かるた部〉

- 千葉県高等学校かるた選手権 千葉県最終予選会 団体優勝
- 第44回全国高等学校百人一首かるた選手権大会(近江大会) 2回戦進出
- 第46回全国高等学校総文祭 小倉百人一首かるた部門 千葉県選手団に2名選出
- 令和4年度千葉県高校生かるた研修会(団体戦) Aリーグ優勝/Bリーグ準優勝
- 第15回有職城域団体戦かるた大会(C級以下部) 団体戦準優勝
- 第29回関東地区百人一首かるた大会 千葉県選手団に3名選出

〈放送部〉

- 第69回NHK杯全国高校放送コンテスト ラジオドキュメント部門全国大会出場
- 第69回NHK杯全国高校放送コンテスト 千葉県大会 最優秀賞 ラジオドキュメント部門
- 第20回関東地区高校放送コンクール 優良賞 朗読部門
- 第35回千葉県高文連放送コンテスト 優秀賞(全国大会推薦)朗読部門、ビデオメッセージ部門/優秀賞(関東大会推薦)アナウンス部門

生徒の自主性を育む施設も充実

広々とした学習スペースを備えたラーニングセンターや
全天候型トラックをはじめとするさまざまな運動設備など、文武両道を支える多彩な施設が揃っています。



校舎の建築理念

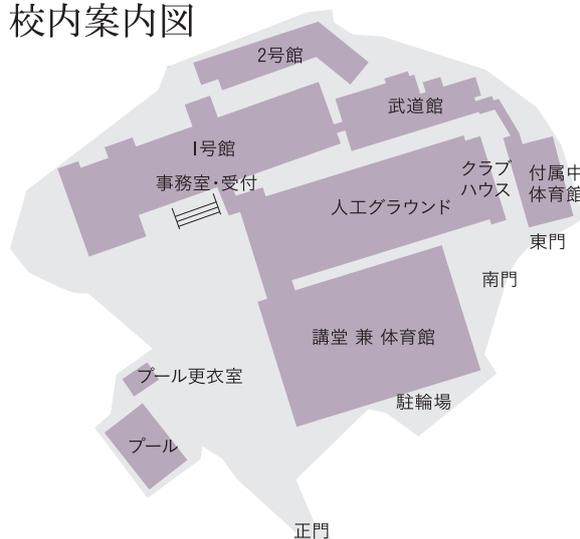
文武両道の校風のもと、生徒たちが共に支え合い切磋琢磨する学舎として、
新時代を担う人材の育成を目指します。

- [創造] ラーニングセンターを中心とした知的創造を促す校舎
- [交流] コミュニケーションを高める空間構成
- [連携] 中高一貫教育としての連携を促す空間構成
- [調和] 伝統・環境配慮・更新性・安全性を重視した将来を見据えた校舎

周辺施設案内図



校内案内図



人工グラウンド



理科教室



講堂兼 体育館

講堂はバスケットコート2面分の広さがあり、528席の電動式観覧席を備えています。舞台奥には高さ4mの不動明王が祀られており、近代的かつ伝統的校としての特徴のある施設になっています。



ラーニング センター

40,000冊を超える蔵書を誇るラーニングセンターには、インターネット環境の整ったパソコンも設置しており、多くの生徒が自由に読書や試験前の勉強に励んでいます。



ラーニング センター 前ホール

ラーニングセンターの前にはカフェのような雰囲気のホールがあり、試験前の放課後には、グループ学習の場として使う生徒達で賑わいます。



グラウンド

400mトラックのある全天候型グラウンドは体育の授業や陸上部の練習、体育祭に使用されています。観覧席もあり、体育祭を見学にくる保護者の方にも開放しています。



作法室

茶室、水屋、日本間の3室を備える作法室では、華道部、茶道部が活動しています。日本間の障子を開けると、外には石庭の厳かな景色が広がります。



弓道場

約1,200㎡の敷地内に部室や用具倉庫が完備されています。矢道は芝生が整備され、10人立の近的場・看的表示付きの充実した環境で大会の開催も可能です。



柔道場(武道館)



剣道場(武道館)



コンピューター教室



調理教室



視聴覚教室



野球部トレーニングルーム



校章に配されている「葉牡丹」の色である紫を、濃淡で使用した制服です。優雅、品性高雅を象徴する「葉牡丹」の紫と、現代的なタータンチェックのスカート、落ち着いた色のジャケットが、高潔優雅な成田高校らしさを醸し出しています。女子生徒はスラックスを選択できるようになりました。ブラウスは白とラベンダーの2種類、リボンは3種類あります。

一日の過ごし方

授業に部活に、友だちとのおしゃべり、かけがえのない高校生活を、毎日楽しみながら過ごしています。

月～金曜日	
7:00	ラーニングセンター開館
8:25 — 8:30	HR
8:30 — 8:40	読書の時間
8:50 — 9:35	第1校時
9:45 — 10:30	第2校時
10:40 — 11:25	第3校時
11:35 — 12:20	第4校時
12:20 — 13:05	昼休み
13:05 — 13:50	第5校時
14:00 — 14:45	第6校時
14:50 —	終礼・清掃
15:10 — 15:55	第7校時 (45分・水のみ)
19:00	ラーニングセンター終了

土曜日	
7:00	ラーニングセンター開館
8:25 — 8:30	HR
8:40 — 9:25	第1校時
9:35 — 10:20	第2校時
10:30 — 11:15	第3校時
11:25 — 12:10	第4校時
12:15 —	終礼・清掃
15:00	ラーニングセンター終了

● 平日の平常日課における
ラーニングセンター(自習室兼図書館)
利用時間は、7:00～19:00



登校時には、元気な朝のあいさつが聞こえてきます。



タブレットを活用して学習の効率化や、主体的な学習環境を実現しています。

在籍者数

(令和5年4月1日現在)

1年	男子	191
	女子	169
	計	360
2年	男子	230
	女子	151
	計	381
3年	男子	153
	女子	133
	計	286
男子	女子	計
574	453	1,027

市町村別在籍者数

(令和5年4月1日現在)

千葉県				茨城県			
成田市	216	船橋市	29	銚子市	4	利根町	3
富里市	37	市川市	5	匝瑳市	8	稲敷市	7
佐倉市	136	市原市	14	旭市	10	潮来市	2
酒々井町	19	我孫子市	19	芝山町	6	取手市	1
栄町	8	柏市	3	山武市	17	神栖市	7
印西市	54	松戸市	7	横芝光町	8	鹿嶋市	1
四街道市	63	流山市	3	東金市	8	茨城県その他	1
八街市	25	鎌ヶ谷市	4	九十九里町	3		
白井市	5	香取市	32	大網白里市	3	東京都	3
千葉市	148	神崎町	4	千葉県その他	10	その他	4
八千代市	45	多古町	7				
習志野市	28	東庄町	10				
高校合計				1,027			

よくあるご質問

Q.学費について教えてください。

A.入学時の納入金等は下記のとおりです。このほかに学年によって異なりますが、教材費等が別途必要になります。

※授業料等は、入学後に変更されることがあります。

入学手続時納入金

入学金	施設維持費	PTA入会金	校友会入会金	計
120,000円	100,000円	1,000円	1,000円	222,000円

※別途タブレット端末代(設定管理費・保証・アプリ代を含む)。

毎月の納入金等(令和5年度参考)

授業料	施設設備費	実験実習費	図書費	冷暖房費
28,000円	7,000円	300円	200円	500円
校友会費	PTA会費	同窓会費	積立金	計
2,000円	2,000円	100円	15,000円	55,100円

※令和6年度について変更がある場合はHP上に掲載いたします。

Q.奨学金制度はありますか？

A.本校の奨学金制度として、毎年各学年若干名の成績優秀者を選び、奨学金の給付(年間12万~24万円)や入学金の免除がなされます(特別奨学金制度)。また、外部団体等が行っている育英資金の奨学金制度を紹介しています。

Q.携帯電話を校内に持ち込むことはできますか？

A.携帯電話の持参は緊急時の対応等を目的に許可制で認めていますが、生徒が持参した携帯電話は、朝のホームルーム時にクラス担任が回収し、帰りのホームルーム時に返却するようにしています。

Q.海外へ行く機会がありますか？

A.希望者対象で、カナダ(7月)アメリカ(3月)での語学研修を行っています。それぞれ2週間程度のプログラムの中で、現地の文化を学び、英語力の向上を図ります。将来語学を生かした進路を考えている生徒には、参加を奨励しています。

※令和5年度はカナダ語学研修は中止となりました。

Q.受験状況について教えてください。

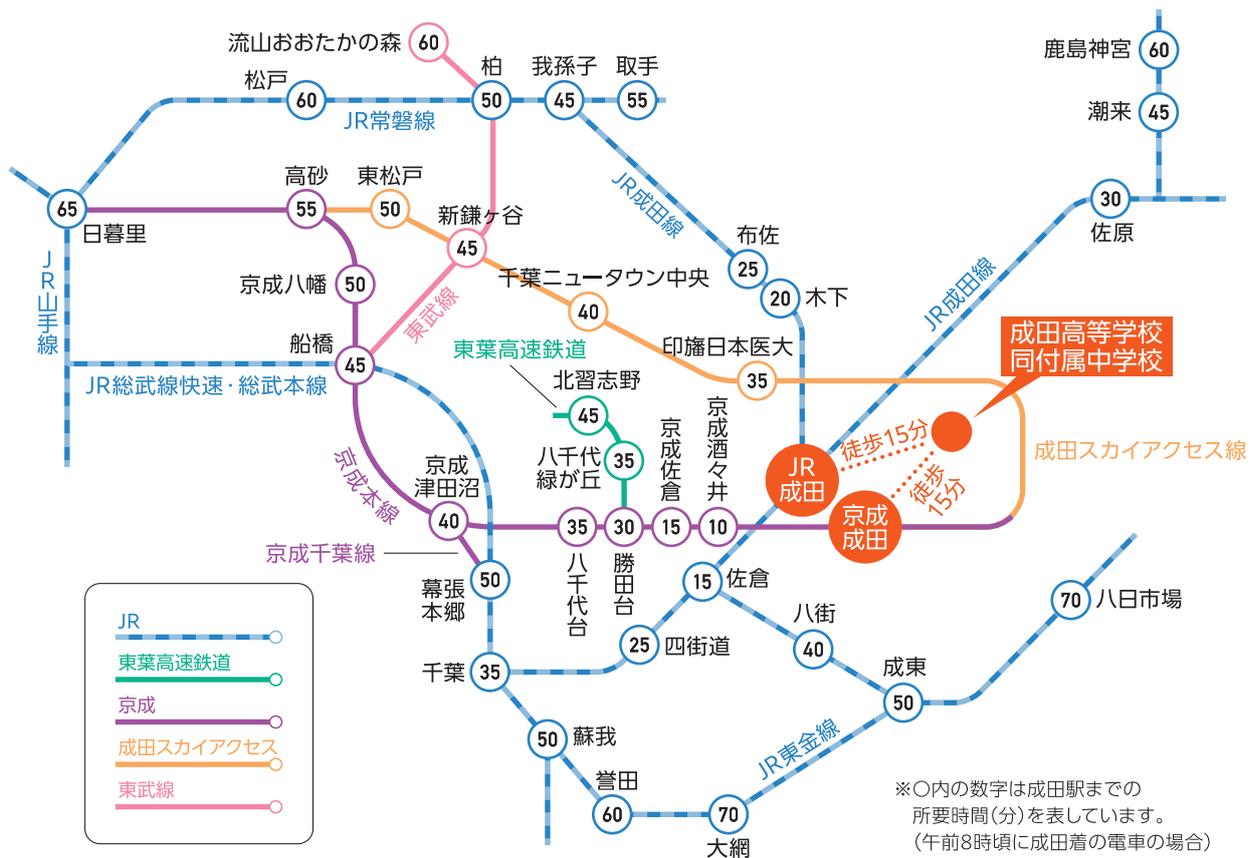
A.本校の令和5年度入試の受験状況は下記の通りです。

〈令和5年度入試〉

	特進α	進学	
募集人員	80	70	
志願者	644		
受験者(A)	644		
合格者(B)	232	237	
実質倍率(A÷B)	2.8	1.7	
合格最低点	200(加点なし)	174*	
教科別合格者平均点	国語	78.3	74.7
	数学	64.5	57.3
	英語	76.7	69.8
	合計	219.5(加点なし)	205.4*

※進学クラスの合格最低点及び平均点の合計は、本校第一志望者への20点の加点を含んだ点数です。

通学区と各駅から最寄り駅までの時間 (分)



学校法人 成田山教育財団

成田高等学校

〒286-0023 千葉県成田市成田27
 TEL.0476-22-2131 FAX.0476-23-0234
 E-mail : nyusi@narita.ac.jp
<https://www.narita.ac.jp>
 最新情報はニュースをご覧ください。



●JR成田駅・京成成田駅 徒歩約15分

学校説明会

要予約

[7/1(土)~HPで受付] 定員になり次第締め切らせていただきます。
 ※日程等に変更がある場合はHP上でお知らせします。

説明会(現地・オンライン・録画配信)

第1回 令和5年 8月2日(水)	第2回 令和5年 8月21日(月)	第3回 令和5年 11月4日(土)
---------------------	----------------------	----------------------

スクールツアー(校内施設等見学)

第1回 令和5年 8月3日(木)	第2回 令和5年 8月24日(木)	第3回 令和5年 11月25日(土)
---------------------	----------------------	-----------------------

詳しくはこちらから



(学校紹介ページ)



(学校説明会予約ページ)